



日頃からの備えに向けて

校長 濱野 建児

新年度に入り、1ヶ月が過ぎました。児童・生徒たちも新しい環境に慣れてきた様子です。5月は、現在の新しい元号に変わった月です。万葉集の句にある「令月」と「風和」の組み合わせとされています。「令月」とは何をするにも良い月という意味があるそうです。

さて、新年度に入った4月に愛媛・高知の地域で大きな地震が発生しました。1月には能登半島地震がありました。災害のあった地域の方々に心よりお見舞い申し上げます。

平成23年3月11日、東日本大震災の様子について当時の校長先生が周年行事に際して発災時の対応状況を寄稿されていました。学校に留まり過ごした様子がよく分かりました。私もその当時は、東部地域の特別支援学校で勤務しており、大きな揺れを感じながら学校に留まり地域対応や災害食準備等、翌日まで対応したことを鮮明に覚えています。その後、宿泊防災訓練の必要性に迫られ、現在まで毎年特別支援学校で実施されています。

本校では、毎月避難訓練を計画し、4月も実施しました。車いすの児童・生徒に加えて同じ校舎で学ぶ大塚ろう学校城南分教室の幼児も避難訓練に参加しています。移動やコミュニケーション手段に配慮が必要な子供たちを安全に避難誘導するための万全な対策と改善が必要となります。災害は、いつ発生するかわかりません。消防署の方々からも訓練に際して、自助・共助が大切であると繰り返し教えていただいています。昨年度の学校運営連絡協議会委員からも災害対策について課題をいただきました。御家庭や関係機関と一層連携を密にして子供たちの安全・安心な学習環境を作っていきます。



はじめまして。よろしくお願いします。

副校長 西 健史

これまでは23区東北部の特別支援学校が多く、初めての南寄りの地域での勤務となります。地名も聞き慣れず、分からないことが多いのですが、早く学校に慣れ、児童・生徒の良いところ、学校の良いところ、地域の良いところをたくさん見つけていきたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。



笑顔いっぱいの学校生活

副校長 笠井 玉喜

子供たちが楽しく学校生活を送れるように、笑顔になる言葉掛けをいっぱいしていきます。そのために、保護者の皆様と地域の方々と連携して安全に活動できる環境を整えたいと思います。保護者の皆様と協力することで学校の環境を変えられることもたくさんあるので、御理解・御協力をお願いいたします。

